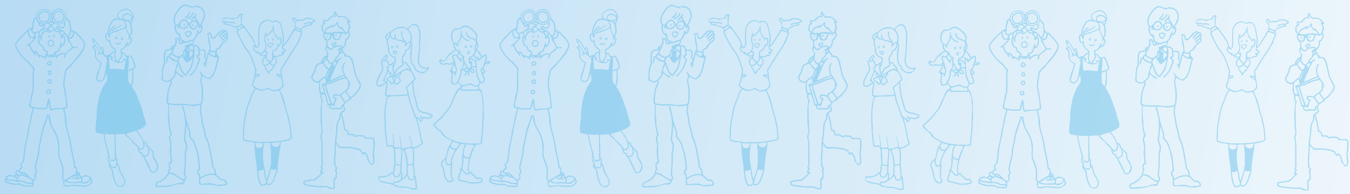
ゼミＣ　平成 25 年 9 月 15 日(日)　14：30 ～ 16：00

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
吉田	C1	**公的医療保険って何だろう？** **稲森　公嘉** （法学研究科教授）	私たちの日々の暮らしを根底で支えている社会保障制度。そのありようは、それぞれの国のあり方、人々のものの考え方を反映しています。このゼミでは、さまざまな社会保障制度の中で、皆さんにも身近な存在である公的医療保険を素材として、社会保障の意味やあり方について考えたいと思います。	講義	保護者参観型
吉田	C2	**火山の噴火を見てみよう** **鍵山　恒臣** （理学研究科教授）	世界のいろいろな火山噴火の映像をふんだんに見ながら噴火の不思議を考える。また、インターネットで京都大学の火山観測所や世界の火山観測所にアクセスし、火山活動について調べる練習をする。	講義・話し合い	保護者参加型
吉田	C3	**測地学** **―重力を測って地球を探る** **風間　卓仁** （理学研究科助教）	「測地学」は、地球の大きさや形を測定する学問です。今回は、測地学の観測で一般的な重力測定を皆さんに体験してもらいます。地球が私たちを引きつける力「重力」が、場所によってどれくらい違うのかを確かめます。この体験を通して、観測の重要性や地球の大きさを実感してみましょう。	実験	保護者参観型 ※Ｂ１と同じ内容
吉田	C4	**イマジナリーキューブで** **立体幾何を楽しもう** **立木　秀樹** （人間・環境学研究科教授）	イマジナリーキューブで遊びながら、立体幾何の不思議を体感し、その裏に存在する数学を考えましょう。イマジナリーキューブを用いたパズルや「芸術作品」もお見せします。詳しくは、http://www.i.h.kyoto-u.ac.jp/~tsuiki をご覧ください。	講義・実習	保護者参観型
吉田	C5	**留学生と一緒に** **世界の環境問題を考えよう** **舟川　晋也** （地球環境学堂教授）	環境問題は私たちにとって国を越えた課題です。本ゼミではアジア・中南米からの留学生らが中心となり、海外（特に開発途上国）の環境問題や解決に向けた研究や実践を紹介します。教員と留学生を交えた小グループに分かれ、自由に質問や議論をしながら、世界の環境問題について考えましょう。 留学生による発表や留学生との対話は日本語（もしくは通訳付き）で行います。	講義・グループディスカッション	保護者参観型 ※Ｂ３と同じ内容
吉田	C6	**①海辺の生物の自然史** **久保田　信** （フィールド科学教育研究センター准教授） **②海岸に生息する両生類（カエル）の研究** **原村　隆司** （白眉センター（フィールド科学教育研究センター）連携助教（特任助教））	①すばらしく多様、多彩な和歌山県白浜町の生物たちの人間にはない、ミラクルな力に焦点を当て、PPT（パワーポイント）で画像を豊富に用い紹介。DVD で歌入りでも紹介予定です。特に若返る不死のベニクラゲにスポットをあてます。 ②両生類（特にカエル）は、田んぼや山の中のきれいな水辺にすんでいると僕たちは思っています。しかし、海岸の砂浜の、塩水がくるような環境を生活場所としているカエルもいます。今回は、この不思議なカエルが、どのように海岸で生活しているのかをお話しします。	講義	保護者参加型

場所/記号		テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
桂	C7	**光の波・音の波** **北村　恭子** （白眉センター（工学研究科）特定助教） **小石　かつら** （白眉センター（人文科学研究所）特定助教）	光も音も波です。虹が七色に見えるのも、音に音色があるのも、実はこの“波"としての性質で理解することができます。このゼミでは、前半に皆さんで虹を作ることで、波の反射・屈折を理解します。また、CDの裏にある虹が光の干渉でできていることや、音の重ね合わせで起こる音の干渉など、光と音とが、どちらも波の性質を持っていることを体感したいと思います。	講義・実験	保護者参加型
吉田	Y2	**森の水はきれいな水？：森・里・海の水質くらべ**　若手研究者特別ゼミ 農学研究科森林科学専攻 森林育成学・森林情報学研究室、 フィールド科学教育研究センター	最近よく見かけるペットボトルの水。これらのほとんどが森からわき出した水を元にしています。なぜ“森林”の水なのでしょうか？人の住む里や海の水との違いは何なのでしょうか？いろいろな水質を実際に調べながら、森林の持つ水質浄化機能、森から海までに行く間の水質変化を体感して、森里海のつながりについて一緒に考えましょう。	講義・実験	保護者参加型

平成 24 年度のゼミの様子

Kyoto University Junior Campus 2013